

「尿中蛋白分画《キャピラリー電気泳動法》」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして本年9月末日より検査方法をアガロースゲル電気泳動法に変更させていただきますので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。
敬具

記

■対象項目/変更内容

●[1961] 尿中蛋白分画《キャピラリー電気泳動法》（総合検査案内未掲載項目）

変更内容	新	旧
項目コード	1961	同左
検査項目名	尿中蛋白分画 《アガロースゲル電気泳動法》	尿中蛋白分画 《キャピラリー電気泳動法》
検査方法	アガロースゲル電気泳動法	キャピラリー電気泳動法
検体量	尿 1mL	尿 5mL
保存方法	冷蔵	
基準値	(設定せず)	
所要日数	3~5日	
報告成分	アルブミン (%) α_1 グロブリン (%) α_2 グロブリン (%) β グロブリン (%) γ グロブリン (%) A/G	同左
報告下限/上限	設定なし	
報告桁数	小数1位、有効3桁	
検査委託先	株式会社 LSI メディエンス (→1)	

※新旧二法の相関は裏面をご確認ください。

■変更期日

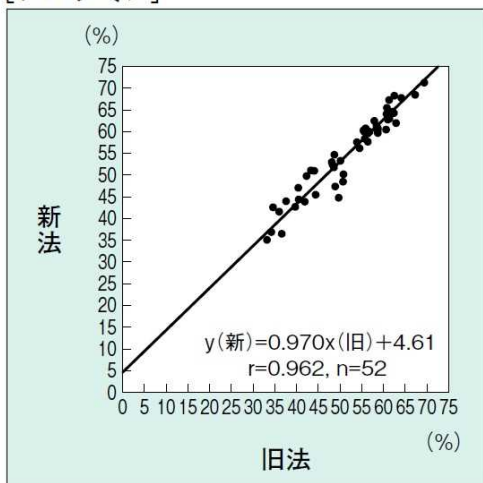
●2020年9月30日(水)受付日分より

尿中蛋白分画

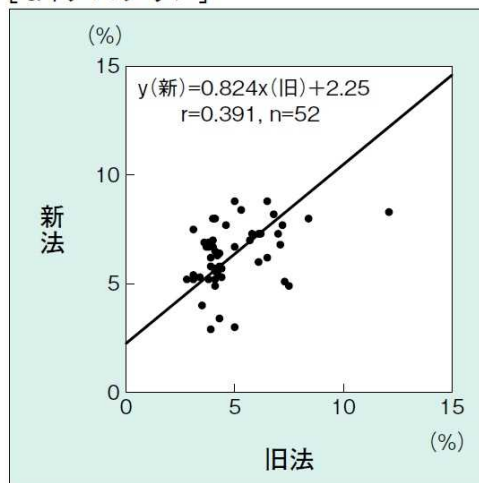
尿中蛋白分画《キャピラリー電気泳動法》の検査方法を、精度向上を目的にアガロースゲル電気泳動法に変更いたします。本変更に伴い検体量の削減が可能となります。なお、旧法において、尿材料では造影剤の影響(干渉)を受けるとされていますが、新法ではその影響が少なくなるとされています。

■新旧二法の相関

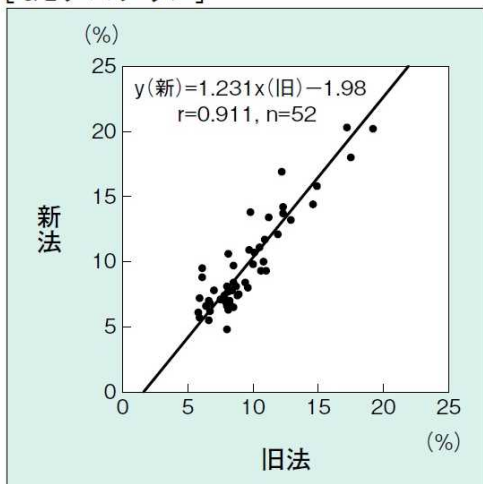
[アルブミン]



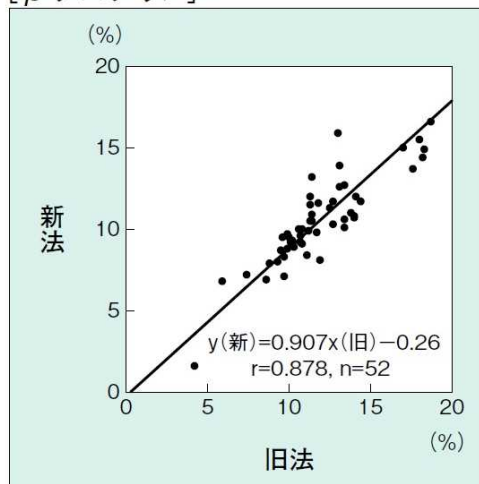
[α_1 グロブリン]



[α_2 グロブリン]



[β グロブリン]



[γ グロブリン]

